

建設水道委員会会議録

1. 開催年月日

平成31年 3月 8日 開会 10時00分 閉会 10時33分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

荒木謙二 坊野公治 大滝文則 上野安是

細羽敏彦 多賀信祥

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 西田久志

(2) 副議長 惣台己吉

(3) 説明員

副市長 猪原慎太郎 建設部長 橋本良啓

水道部長 妹尾福登 建設部次長 谷本悦久

水道部次長 田中伸廣 芳井支所長 岡田光雄

美星支所長 川上邦和 いばらぐらし推進課長 川上益史

企業誘致課長 田中大三 農林課長 岡本健治

都市建設課長 西田直樹 下水道課長 飛田圭三

総務課長補佐 片井啓介 魅力発信課長補佐 金政吉伸

上水道課長補佐 熊原康治 都市建設課都市管理係長 武智義仁

(4) 事務局職員

事務局長 川田純士 事務局次長 藤原靖和

主査 柳本兼志

6. 傍聴者

(1) 議員 妹尾文彦、柳原英子、山下憲雄、三宅文雄、三輪順治、
宮地俊則、佐藤 豊、森本典夫

(2) 一般 0名

(3) 報道 0名

7. 発言の概要

委員長（荒木謙二君） 皆さんおはようございます。

ただいまから建設水道委員会を開会いたします。

初めに、副市長のごあいさつをお願いします。

副市長（猪原慎太郎君） 皆さんおはようございます。

ことしの冬は比較的暖かくて過ごしやすい冬だったように思います。3月に入りまして、また一段と春らしい日が続いておりまして、桜の開花も早いのではないかとと言われております。一部報道によりますと、岡山県の桜の開花予想としまして、3月24日当たりではないかといった報道もされているようであります。まさに春本番といった感じがいたしております。

皆さんご承知のとおり、昨年7月豪雨におきましては、市内の事業所におきましても大変大きな被害が発生をしております。国のほうでは、グループ補助金といった制度、それから本市におきましても、昨年の補正予算で認めていただきました3つの被災者支援制度を設けております。2月末時点のそういった状況について、少し報告をさせていただければと思います。

まず、国の制度であります中小企業等へグループ補助金というものがございまして、井原市の場合、商工会議所とそれから備中西商工会という2つの企業支援の組織がございまして、2つのグループとして申請をしておられます。まず、井原商工会議所としまして、井原市産業復興グループというグループをつくられまして、国のほうへ申請をしておられます。そういった中で、まずグループ自体37事業者、被災された37事業者でグループをつくられておりまして、そのうち、今現在あくまでもわかっている範囲ではございますけれども、グループ補助金の交付を申請された事業者が現在15事業者、そのうち交付決定を既に受けられた事業者が11ということでございます。それから、備中西商工会のほうでございまして、これは、井原でいいますと芳井町、美星町の企業が該当ということになりますけれども、備中西商工会のほうは、復興グループとしましては40の事業者でグループをつくっておられます。そのうち井原郡といいますか、芳井の3事業者がそのグループへ入っておられます。3事業者のうち、グループ補助金の申請をされた業者が1事業者、そのうち1事業者が既に交付決定を受けておられるといった状況でございます。

続きまして、井原市独自の制度の利用状況でございまして、まず元気応援商工業借入資金利子補給金の拡充ということで、もともとイバラノミクスにあった制度でございまして、7月豪雨で被災された企業に限って、別枠で8,000万円を限度といった融資制度でございまして、この利用状況でございまして、申請件数2月末時点で32件ございまして、対象の借入金額としまして7億9,145万円の借り入れを受けておられるといっ

た状況でございます。

続きまして、被災事業所再建支援補助金、これは国の制度の対象とならないものについて、市のほうで一部助成をするという制度でございますけれども、2月末現在で申請件数が15件ございまして、交付決定金額が341万8,000円といった状況でございます。

最後に、これも市の制度でございますけれども、雇用維持安定事業補助金というものがございまして、これは被災をされた中小業者が一定期間休業をやむなくされた場合に、その被災企業に勤めておられます従業員の方への休業補償といった国の制度に対しまして、市がさらに上乘せするといった補助制度でございますけれども、これの利用状況が2月末時点で申請をされた事業者が2つございまして、交付決定金額が79万6,000円といった状況でございます。被災企業の皆さんは、今現在も国並びに市の支援制度を有効に活用されながら、復旧、復興に向けて取り組んでおられるところでございます。

そうした中、本日は建設水道委員会を開催をいただきまして、委員の皆様方には、何かとご多用の中、お繰り合わせ、ご出席をいただきましてまことにありがとうございます。

この委員会に付託されております案件でございますけれども、条例が2件、市道路線の認定及び変更について、それから岡山県広域水道企業団への出資についてということでございます。皆様からはどうか慎重にご審議をいただきまして、また適切なお決定を賜りますようよろしくお願いいたしますと思います。

なお、お手元に本定例会の報告事項をお配りをしております。皆様方には後ほどお目通しのほう、よろしくお願いいたしますと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

〈議長あいさつ〉

〈議案第31号 井原市営住宅条例及び井原市特定公共賃貸住宅等管理条例の一部を改正する条例について〉

委員（上野安是君） 本会議でも説明があったかもわかりませんが、保証人の取り扱いの拡大をすることによってのメリット、デメリットがあれば、もし考えられているのであれば教えていただきたいと思います。

建設部次長（谷本悦久君） デメリットはございません。

メリットとしましては、今までも連帯保証人は個人に限っているということでありましたが、拡大することによって法人も可能となると、法人もいわゆる家賃保証会社の法人と、それからNPO法人も可能でありまして、それから勤務されている勤務先の法人も対象になっ

ているということで、それぞれの方々も連帯保証人に成りうるということでそのために拡大をしたということでもあります。メリットはそういうことになります。

委員（上野安是君） 借りるときの契約の内容がよくわかりませんが、例えば期間が何年かで借りられてて、保証人をつけられてというところで、それをもし契約を更新される際に、その保証人ではなくて、こちらの法人というようなことのやりかえというか、やりかえという言い方がいいのか悪いのかわかりませんが、それは可能なんですか。

建設部次長（谷本悦久君） 現在、個人の方が保証人になられている方もいらっしゃいますが、それからそういう法人に乗りかえられるかというご質問だと思います。これは、乗りかえは可能でございます。

委員（大滝文則君） 40年度の神代住宅が6戸から4戸、45年度が4戸を削るということですが、かなり古い住宅ですが、新しいほうを完全に削って5年前のほうを残してですが、この分は相当古いと思うんですけども、状況とすれば削る方向であるかと思うんですけども、この4戸残っている家に何人お住まいで、生まれなかった時点でこれも同じように削っていくというような状況にあるのでしょうか。

建設部次長（谷本悦久君） 今回の用途廃止をする6戸でありますけれども、既に神代住宅、現在14戸ありまして、全て募集は停止をしております。それで、そのうち空き家が今9戸ございまして、そのうち今回6戸を用途廃止をするものでございます。現在、入居されているのは5戸ありまして、昭和40年建て1棟2戸へ2戸お住まいです。それから40年建ての1棟2戸へ1戸住まわっております。それから44年建ての1棟2戸の建物には1戸、同じく44年建ての1棟2戸の建物へ1戸で、今5戸住まわっているという状況でございます。

委員（大滝文則君） 繰り返しになりますけれども、もう生まれなくなった時点で用途廃止という、その指針ということによろしいですか。

建設部次長（谷本悦久君） そのとおりでございます。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第 3 2 号 井原市布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等を定める条例の一部を改正する条例について〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第 3 5 号 市道路線の認定及び変更について〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第 3 6 号 岡山県広域水道企業団への出資について〉

委員（大滝文則君） 1 点、ちょっとお願いします。

災害によって、30 年から 31 年度の事業が 31 年から 32 年の事業に繰り延べになったという本会議の説明で、事業費は同じというお話だったと思うんですけども、30 年度の減額補正 192 万円が今回 194 万 5,000 円という小さなことなんですけども、2 万 5,000 円ちょっとふえる格好ですけども、事業費が同じということからすると、そのあたりはどういうふうな経緯で 2 万 5,000 円ですけどもふえたということになるんでしょうか。

水道部次長（田中伸廣君） このたびの減額の部分につきましては、30 年度に工事を予

定しておりました。昨年度実施した測量において、その用地取得したエリアに埋蔵文化財がございまして、埋蔵文化財調査を実施するという事で30年度事業を31年度に繰り延べ、最終の31年を32年の1年延伸ということに事業はなっております。

その中で、全体事業費としては、事業に係る事務費を除く工事費が2億4,100万円を全体事業で予定されております。それを、今年度では用地取得に係る負担分2万5,000円と、来年度の194万5,000円は30年度でお願いしとりました同額の予算ということで、最終的には32年度で全ての事業費を調整されるということで伺っております。

委員（大滝文則君）　　ちょっと勘違いしておりました、済いません。わかりました。終わります。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（荒木謙二君）　　以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

〈所管事務に関する執行部からの報告〉

〈土砂災害警戒区域に係る調査及び説明会について〉

委員（上野安是君）　　31年度の説明会を7カ所で行われるということですが、日程ってというのはこれからでしょうか。

都市建設課長（西田直樹君）　　日程につきましては、県が主催するものなので、これから決定されることになっております。

〈なし〉

〈岡山県における水道事業の広域連携に関する報告について〉

委員（大滝文則君） 以前、厚労省でしたか、1市1水道課という指針が示されたことがあったかと思うんですけども、これを確認したいんですけども、あったとすると、それは広域連携の分にある程度リンクしとるということはあるんでしょうか。

水道部次長（田中伸廣君） 平成19年に、井原市としましては、1市1水道事業にするという計画を厚生労働省のほうに報告しておりまして、今現在、まず美星の簡易水道を1つにする、芳井の簡易水道を1つにする、最終的には井原市の上水道で一本化するという計画書を提出して承認を受けております。

それで、今現在簡易水道再編推進事業を今年度もやっております、将来的には1水道にしていくという市の方向性はあります。それと、今回の広域連携につきましては、事業規模によってはメリットがあるないがございますが、簡易水道、上水道事業含めて広域連携をして、少しでも経費の節減が図れることがあれば、井原市として取り組んでいきたいという方向で考えております。

委員（大滝文則君） 前段で1市1水道が前提なのか、それは並行して進めていくことなのかということ、例えば業務の効率化なんかは、できるだけ井原市の中でも1市1水道課という指針の中でしていくと、委託料等々につきましても、例えば今言う上水道、芳井、美星がある部門を委託をすることによって効率化が図れるという、そういうことも並行してやるのか、それともこれはこれ、それはそれなんか、そのあたりはどうなんですかね。

水道部次長（田中伸廣君） 濟いませぬ、先ほどの質問でリンクをしているかということで、一応、井原市としてはそういう方向で考えておりまして、広域連携はそれとはまた別のものとしてリンクはしてないと考えております。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） ないようでございますので、本件については終わります。

以上で所管事務に関する執行部からの報告は終わります。

〈所管事務調査〉

委員長（荒木謙二君） 本日の所管事務調査事項はございません。

このほかに、不測の事態により緊急に所管事務調査事項として追加すべきと思われる提案がございましたら、ご発言願います。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） ないようですので、以上で所管事務調査については終わります。

以上でこちらからは特にありませんが、委員の皆さんから何かございますか。

〈なし〉

副市長（猪原慎太郎君） 終わりに当たりまして、一言お礼を申し上げたいと思います。

本日は、委員の皆様方には慎重にご審議をいただきまして、なおかつ適切なご決定を賜りましてまことにありがとうございます。今議会を通じて、皆様方からいただいておりますさまざまなご意見やご要望につきましては、今後の市政に反映をしていきたいというふうに思っております。来週は新年度予算に関します委員会がございます。引き続きどうぞよろしくお願いたしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

〈議長あいさつ〉

委員長（荒木謙二君） 以上で建設水道委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。